TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまの知恵　言葉ではなく力の国
コリントの信徒への手紙一 4:14-21

2025年1月18 & 19日
余沢　武 牧師

I. はじめに

こんにちは。コリントの信徒への手紙一では、コリントの教会が分裂し、パウロの信者だと主張する人たちと、アポロの信者だと主張する人たちがいたことを学びました。パウロは人々にこう言いました。

パウロもアポロも「イエスの僕」に過ぎず、「神さまの知恵」を委ねられていました。それは、私たちが罪人であることを認め、私たちの罪への罰としてイエスの十字架を受け入れ、どうか「イエスの似姿」に成長できるように手をお貸しください、とイエスに助けを求めることを意味します。

もしこのことに気をつけていれば、教会は分裂しなかったでしょう。
でもコリントでは、そうしない人たちがいました。彼らは「イエスの似姿」を追い求めませんでした。不道徳や偶像崇拝を捨て去らずに、まるで変わる必要がないかのように生きていました。
一方で、パウロやその他の人たちは、神さまの知恵によって「イエスの似姿」を追い求めつづけました。迫害されたにも関わらず、彼らは労働し、敵を祝福し、困難に耐え、慈悲深く応じ、イエスの優しくて謙虚で愛情深い性格を身につけました。

今日は、このことにおいて「神の王国」の力がどのように働くかを見ていきます。まず、祈りましょう。

II. 言葉ではなく力の国
(1) 父親として

コリントー 4:14-15 を読みましょう。
このようなことを書くのは、あなたがたを恥じ入らせるためではなく、愛する私の子どもとして諭すためなのです。あなたがたに、キリストにある養育係が無数にいたとしても、父親が大勢いるわけではありません。キリスト・イエスにあって、福音を通して、あなたがたを生んだのは、私なのです。

「これ」とは、パウロと他の人々が苦しんでいるのを、コリントの人々が傍観していたとパウロが非難したことを指しています。でもパウロは、彼らに「恥をかかせる」のではなく「警告する」つもりだったと言っています。
なぜならパウロは人々のいわば「無数の教師」なのではなく、キリストにおける彼らの「父」だからです。

「指導者」という言葉は、子どもを監督する役目を命じられた「有給の付き添い人」あるいは「奴隷」を意味します。パウロは、彼は任務を遂行する「指導者」ではないと言います。でもパウロは、キリストにおける彼らの「父」であり、彼らのために生きて、そして死ぬのです。パウロはこう言っています。「愛する私の子どもとして諭すためなのです。」

(2)　倣って学ぶ

16-17 節　そこで、あなたがたに勧めます。私に倣う者となりなさい。このことのために、テモテをそちらに遣わしたのです。彼は、私の愛する子で、主にあって忠実な者であり、至るところのすべての教会で私が教えているとおりに、キリスト・イエスにある私の生き方をあなたがたに思い起こさせることでしょう。

そのため、パウロは彼らに自分の信者になるのではなく、自分に「倣う」ことを望んでいました。
どのように真似るのでしょうか。パウロは言いました。「テモテをそちらへ遣わしました。」そしてテモテは彼らに「私の道（パウロの道）」を授けます。それは「キリスト・イエスにある道」、つまり「イエスの道」です。

これが聖書に書かれている、弟子としての生き方です。
目標は、「弟子の人生」を見るとき、「教師の人生」を見ることになり、それが「イエスの人生」を映し出すはずだということです。
牧師、教師、指導者、あるいは親であれば、私たちの目標は、人々が「私たちの弟子や子どもたちの人生」を見るときに、「私たちの人生」を見て、「イエスの人生」を見いだすことです。
聖書でいう弟子とは、知識を学び、その知識を伝えるのではなく、「イエスの人生」を生きて、その「イエスの人生」を伝えることなのです。

そのため、教師が「神さまの知恵」と共にイエスの似姿を追い求めることに注意すると、弟子の人生もそうなるでしょう。そして教師もまた敵を祝福し、困難に耐え、慈悲深く応じ、イエスの優しく謙虚で愛情深い性格を身につけるでしょう。

一方で、他のことに気を取られると、私たちの精神的な成長も妨げられます。

ところで、これがマルタとマリアの違いです。ルカによる福音書第 10 章には、イエスがマルタとマリアの家にいたときのことが書かれています。イエスは教えを説いていました。マリアは座って、イエスの話に耳を傾けていました。そしてマルタは皆をもてなそうとしていました。
マルタは腹を立て、イエスにこう言いました。**「主よ、姉妹は私だけにおもてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。」（ルカによる福音書 10:40b）**
イエスはこう言われました。**「マルタ、マルタ、あなたはいろいろなことに気を遣い、思い煩っている。しかし、必要なことは一つだけである。マリアは良いほうを選んだ。それを取り上げてはならない。」（ルカによる福音書 10:41-42）**

どうでしょう。マリアはただイエスから何かを学ぼうとしていたのです。イエスの似姿になること、敵を祝福すること、困難に耐えること、慈悲深く反応すること、優しく謙虚で愛情深い人になることを追い求めていたのです。

でもマルタは、良い主人になるという新しい目標を立てました。それは、敵を祝福し、困難に耐え、優しく応じ、優しく、謙虚で、愛情深い人になり、イエスの荷姿になるという彼女の目標を上回っていました。彼女はキリストのような者とは程遠く、分裂の種となりました。

だからこそ牧師、教師、親、クリスチャンとして、私たちはキリストの似姿を追い求めることよりも大切な計画を立てるべきではないのです。さもないと、私たちはキリストの似姿からかけ離れて、他の人も私たちを真似てキリストの似姿になることはなくなるでしょう。

（3）神の国は力にある

18-21 節:「ところで、私があなたがたのところに来ることはあるまいと、高ぶっている者たちがいるそうです。しかし、主の御心であれば、すぐにでもあなたがたのところに行きます。そして、高ぶっている者たちの、言葉ではなく力を見せてもらいましょう。神の国は言葉ではなく、力にあるのです。あなたがたが望むのはどちらですか。私があなたがたのところへ鞭を携えて行くことですか、それとも、愛と柔和な心で行くことですか。」

パウロは誰も彼もではなく「高ぶっている者たちがいる」と言っています。そして、彼らは「言葉だけ」で「力」はありませんでした。

おそらくアポロの信者だと主張していた人たちの中には、アポロの教えをねじ曲げた人もいたのでしょう。彼らはクリスチャンになると、イエスの似姿を追求するよりも、次のような事を大切にするようになりました。
・より豊富な知識
・自分の奉仕や能力
・お金、重要な地位、影響力

マルタの例で見たように、彼らは自分の罪と「神からの知恵」から目を離した瞬間に傲慢になり、批判的になりました。そして教会は分裂しました。

でも19節でパウロはこう言っています。**「高ぶっている者たちの、言葉ではなく力を見せてもらいましょう。」**

驚いたことに、パウロは到着したとき、彼らの素晴らしい知識、奉仕、能力、お金、そして彼らが話していた事には全く興味がないと言いました。彼はただ、神の力が彼らに受け継がれているかどうかを見たいだけだったのです。
黙って労働して、奉仕する力が受け継がれているか。
敵を祝福する力が受け継がれているか。
困難に耐える力が受け継がれているか。
優しく応じる力が受け継がれているか。
イエスの優しく、謙虚で、愛情深い性格が受け継がれているか。

何年か前に、あるクリスチャンの姉妹が、ノンクリスチャンの夫が不倫をしていると私に話してくれたのを覚えています。彼女が夫に問いただすと、夫は悔やむどころか、変わるつもりはない、もしそれが嫌なら出て行っても構わない、と言ったのです。

私は彼女にどうするつもりかと尋ねました。なぜなら、彼女には明らかに悔い改めない不貞をはたらいた配偶者と離婚をする聖書的根拠があると思ったからです。

でも彼女は私にこう言いました。「武牧師、私は結婚生活を続けるつもりです。彼を愛し続けて、彼の救いのために祈り続けたいのです。」私は彼女の顔をじっと見ました。私は何も言えませんでした。彼女が本気でそう言っているのが分かりました。私が彼女の中に何を見たか分かりますか？イエスの力、優しさ、謙虚さ、愛。それが神の力です。

パウロは、そのような力がコリントのクリスチャンに受け継がれているか知りたかったのです。

もしかすると、パウロは失敗したのでしょうか。彼らは、自分たちの知識、奉仕、能力、あるいは自分たちが立てた新しい目標ばかりにこだわって、自分たちの傲慢さと批判精神によって「神からの知恵」を捨て去り、自分たちの「神の力」を少しも顕していないのでしょうか？

パウロはそのうちに分かると言っています。**「神の国は言葉ではなく、力にあるのです。」**

パウロは、自分が行って彼らを懲らしめることもできるが、できるならば、彼らが「神からの知恵」に立ちかえり、自分たちの罪に気づき、十字架の元に戻り、罪を克服し、イエスの優しさ、謙遜、愛を身につけられるような力を神に求め、彼の教会で神の力を知らしめることを望んでいる、と言っています。

そうすれば、彼らの人生を通して、他の人々が「神からの知恵」に頼り、自分の罪を知り、十字架に戻り、自分の罪を克服し、イエスの優しさ、謙遜、愛を身につけるのを助けてくれる力を神に求め、神の教会で神の力を示すようになるのです。

今日は、主の晩餐を共に見守りながら、それを行います。短い祈りの後、賛美チームが歌います。
私たちの心をじっくりと見つめて、私たちの中に性的不道徳、偶像崇拝、傲慢、不寛容、あるいは自尊心という罪がないか考えてみましょう。
神に告白して、赦しと私たちの変化を助けてくださるように神の力を求めましょう。

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0425jp

★クラス 301
私の賜物ってなんだろう？
1 月 19 日（日）1pm - 5pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: クラス 201 まで修了したTBCメンバー

★クラス 401
人生の使命を発見する
2 月9日（日）1pm - 5pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: クラス 301 まで修了TBCメンバー

★クラス 101
教会員になるためのメンバーシップクラス
2 月 16 日（日）1pm - 5pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: どなたでも

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語訳字幕作成（1名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．週末礼拝メッセージ翻訳（3名募集）
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

3．日本語訳レイアウト&印刷（女性1名募集）
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の操作ができる方。